

2025年12月25日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証プライム市場・名証プレミア市場

サステナブル社会共創投資スキームによるTerviva社への投資が 第11回サステナブルファイナンス大賞において優秀賞を受賞

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)の100%子会社である野村證券株式会社(代表取締役社長:奥田健太郎)は、このたび、一般社団法人環境金融研究機構(以下「RIEF」)が実施する第11回サステナブルファイナンス大賞(2025年)において、「サステナブル投資スキームによって持続可能な航空燃料(SAF)開発の米企業に投資」により、優秀賞を受賞しました。

サステナブルファイナンス大賞は、環境問題を金融的手法で解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を展開するRIEFが、日本の金融市場で環境金融商品・サービス・取組みを展開している金融機関、企業等を表彰するもので、今回で11回目の実施となります。

サステナブルな社会の共創・支援に向けた投資スキームは、当社が、長期的視点で社会課題の解決に挑む未上場企業や、バリューチェーン全体の革新を目指すプロジェクト等に対して、社会的インパクトと財務的リターンを同時に追求する自己投資を行うスキーム(以下「本スキーム」)です※1。

本スキームによる第1号案件として、当社は、持続可能な航空燃料およびバイオ燃料を生産する際の原料として注目が高まっている油糧作物ポンガミアについて、10年以上にわたる栽培知見と研究成果を有する米国Terviva社へ投資しました※2。投資実行後も、当社はTerviva社や関係先と連携し、ポンガミアの普及に向けた活動を続けています。

なお、本スキームは、当社が本日創立100周年を迎えるにあたり、次の100年の価値創造を支える基盤の一つとして設立する「野村ウェルグローイング・インスティチュート」※3の活動の一つとなる予定です。

当社は今後も、グループの総合力を生かして、「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーカスのもと、サステナブルな社会の共創を目指します。

- ※1 2025年3月12日付ニュースリリース「サステナブルな社会の共創・支援に向けた投資スキームの設定について」
- ※2 2025年8月4日付ニュースリリース「サステナブルな社会の共創・支援に向けた投資1号案件:米国Terviva社への投資を通じてSAF/バイオ燃料の原料の多様化と森林再生に貢献」
- ※3 2025年12月25日付ニュースリリース「野村グループ100周年記念事業『野村ウェルグローライジング・インスティチュート』を設立」

以上